

自治会未加入の皆さんへ

# 自治会への加入をお願いします!!

地域コミュニティ課 ☎65-1218 📠65-1255

誰もが住んでいる地域で安全・安心に過ごし、快適に暮らせるように、自治会は地域の身近な課題を解決したり、いざというときのために防災・防犯活動など地域活動の中心的役割を担ったりしています。

ただ、そのためには、地域住民同士の連携や協力が必要不可欠です。また、これらの活動を継続的により効果的に進めていくには、地域の多数の人が参加する必要もあります。

新居浜市連合自治会では、毎年3月を加入促進強化月間と定め、市と協力して加入促進活動を行っています。自治会に未加入の人は、この機会に自治会への加入をお願いします。

あなたの経験や力を生かして、住んで良かったと思えるまちをつくるため、また、あなたが住んでいる「まち」や「ひと」を知るために、自治会に入って地域活動や行事に参加してみませんか！

## 自治会はこんなことをしています!!

### ◆親睦・地域の絆づくり

運動会やお祭り、敬老会、伝統行事の継承など魅力あるまちづくりを進めています。

### ◆きれいで快適なまちづくり

ごみステーションの設置と維持管理や清掃活動、花いっぱい運動など美しく住みよいまちづくりを進めています。

### ◆安全・安心のまちづくり

防犯灯は地域の自治会が「住民の皆さんが夜道を安心して歩けるように」と設置しています。また、いざというときのために自主防災組織の結成や防災資機材の整備、防災訓練の実施など、日頃からのつながりを大切にしています。

### ◆行政とのパイプ役

地域に密着した、住民主体の集会として「まちづくり校区懇談会」を市と共催で各校区で開催し、市政の課題、地域の課題などについて市長を交え意見交換を行っています。

## 自治会長経験者より 自治会の果たす役割とは

あつて当たり前？交流を深め助け合える地域へ

自治会に入るメリットがな  
いという意見をよく聞きます  
が、自治会がどんな活動を  
やっているか知らない人が多  
いです。自治会が活動をやめ  
てしまうと、私たちの生活が  
どうなるか、気が付いていな  
いだけだと思います。

今あまりにも快適に生活を  
送れていることが当たり前過  
ぎて、メリットをメリットと  
感じていないと思います。ご  
みステーションの管理もその  
一つです。

私が思う自治会の存在意義  
は交流だと思えます。交流を  
深めることで災害時のつなが  
りができます。自治会が目指  
していることをきちんと説明  
して加入してもらえれば、デ  
メリットもあるけれど、いざ  
というときはお互いに助け合  
える地域ができると思います。

平成16、25年度国領自治会長  
安藤 哲さん

無くてはならない!!災害を通  
して実感

私は、新居浜市が甚大な被  
害を受けた平成16年災害時  
に、ちょうど自治会長をして  
いました。

災害時には山崩れが起きて  
2人が亡くなられました。自  
治会長と言っても、ただ順番  
で引き受けただけでしたの  
で、何をどうすればよいか非  
常に困惑しました。ただ、そ  
のときの経験で、自治会の大  
切さを実感しました。

例えば、災害発生後のさま  
ざまな情報も全て市から自治  
会長のところへ入ってきま  
す。また、災害後すぐに大勢  
のボランティアが来てくれま  
したが、その受け入れや指示  
も、自治会などの地域の組織  
がなければ動かないことを身  
をもって体験しました。自治  
会は大切です。

平成16、17年度川口西自治会長  
神野 泰次さん

# 新居浜市連合自治会 第3回「地域の絆づくり運動」最優秀作品

第3回「地域の絆づくり運動」には、絵画 284 点、作文 283 点もの応募がありました。  
ご応募いただいた皆さん、ありがとうございました。



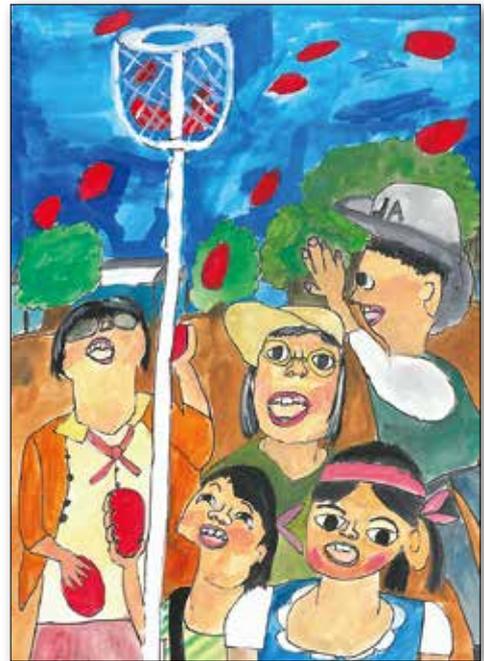
小学生高学年絵画の部  
最優秀賞作品  
岸優花さん（中萩小6年）

【おすそわけ】



小学生低学年絵画の部  
最優秀賞作品  
酒谷莉央さん（角野小3年）

【中すじ町がかつぞ！】



作文部門の最優秀賞受賞作品



中学生の部

【つながりと絆】

伊藤そらさん（大生院中3年）



小学生高学年の部

【ホタル祭りを支えてくれる  
地域の人々】

大川涼さん（中萩小6年）



小学生低学年の部

【まもるくん、いつもありが  
とう】

藤本優希さん（浮島小2年）

受賞した皆さん、おめでと  
うございます。

どの作品からも、子どもた  
ちと地域のひとの温かいつな  
がり表現されており、改め  
てコミュニケーションの大切さを実  
感しました。

自治会加入促進街頭キャン  
ペーンを実施します

連合自治会では、毎年3月  
に加入促進街頭キャンペーン  
を実施しています。

今年度は、連合自治会理事、  
女性部などが参加して、3月  
6日(日)13時30分からフジグラ  
ン新居浜で実施します。

キャンペーンに合わせて、  
第3回「地域の絆づくり運動」  
入賞作品26点の展示を、2月  
29日(月)から3月6日(日)の間、  
フジグラン新居浜1階で行い  
ます。皆さん、ぜひご覧ください。



キャンペーンの様子（平成26年度）

# 各校区でコミュニティ活性化のための事業に取り組みました

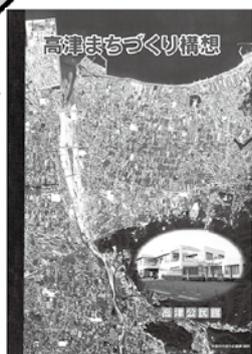
コミュニティ再生を図るため、地域が自分たちで考えた「コミュニティの活性化のための事業」が、今年度も各校区で実施されました。子どもから高齢者まで三世代が楽しめるようなイベントのほか、地域住民の防災意識を高める事業や地域課題に取り組む事業など、各地域の魅力があふれた事業となりました。今年度実施した事業の一部を紹介します。

## 【高津校区】 高津まちづくり構想策定事業

少子高齢化、人口減少、自治会加入率の低下、役員のなり手不足、各諸団体組織の弱体化など、自治会が抱える課題は年々深刻化しており、コミュニティを活性化させるための、新しいまちづくりの体制づくりが急務でした。そのため、平成25年度より、青年リーダー育成事業を活用して人材育成に取り組み、平成26年度には、構想策定委員55人を選出し、6月に第一回委員会を立ち上げ、平成27年7月までに14回のワークショップと検討会を重ね「高津まちづくり構想」がまとまりました。まちづくり構想の総合理念は、「安心と安全のまち」「たかつ」さらに次の8つの分野に分けて計画を作りました。

- ① 「住民交流」
  - ・ 「みんなが明るく住みやすい」まち
  - ・ 「みんなで地域を支える」まち
  - ・ 「みんなのために活動する」まち
- ② 「育児」福祉
  - ・ 子どもたちが「元気に健やかに育つ」まち

高津校区に住んで良かっと思ったり、取り組まします。



高津まちづくり構想 (冊子)

- ③ 「高齢者」福祉
  - ・ 「生きる生きと「子どもを産み育てる」まち
  - ・ 「安心して「子どもを産み育てられる」まち
  - ・ 「明るく生き生きと生活する」まち
  - ・ 「生きがいを持って活動する」まち
  - ・ 高齢者を「地域・行政が協働して支える」まち
  - ・ 「障がい者」福祉
  - ・ 「真に求められる「手助けをする」まち
  - ・ 障がい者と「共に暮らす」まち
  - ・ 「青少年健全育成」
  - ・ 子どもたちが「共に成長する」まち
  - ・ 地域ぐるみで「守り育てる」まち

- ④ 「環境」
  - ・ 「清潔で美しい」まち
  - ・ 「安心して住める」まち
- ⑤ 「防災」
  - ・ 「災害に強い」まち
- ⑥ 「都市基盤整備」

これらの項目について、実行の要否、可否の判断、効果性、経費などを検討し、具体的な実施内容や方法、体制づくりに取り組んでいます。今後も、地域に住む我々が、主体的に何をすべきか、何ができるのかを協議しながら、自分たちのまちをより良いものになるように努力していきます。

(高津まちづくり構想策定委員会委員長・西岡勝彦)



香川大学清國教授を講師に招き、将来のまちづくりについて自分たちの考えを自由に話し合いました。

## 【角野校区】 生子橋周辺環境整備事業

角野校区連合自治会では、旧来からの懸案事項であった「別子ラインの景観整備」を、今回の交付金を活用して取り組みました。

整備にあたり、まずは、別子ライン入口である、生子橋周辺を整備することとしました。生子橋周辺には歴史的遺産も多く残り、多くの先人たちが努力して作り上げたものでしたが、現在ではゴミの不法投棄、放置樹木が多く、橋からの見通しも非常に悪く、上り下りの車両の影すら見えない危険な場所となっていました。今回の事業を始めるにあたり、連合自治会では4つの目標を決めました。

②別子ラインの溪谷美を元に戻し、奇岩奇石を堪能してもらう。

③安全で快適な散歩コースを提供する。

④ゴミの不法投棄をなくする。

以上の目的達成のため、まずは放置樹木の伐採を行いました。次に不法投棄のゴミ集めと、伐採した樹木の処理などを行い、秋祭りまでに間に合わせる事ができました。

道路も見通しが良く安全に散歩ができるようになりました。また、新田橋の辺りから見る生子橋周辺は、別子ラインの名に恥じない景観に変わりつつあります。

今後も継続して実施し、将来的には新居浜市から四国中央市へまたがるNBM花街道へつなげたいと考えています。

(角野校区連合自治会長・麻生健一郎)



作業の様子



整備前の生子橋



整備後の生子橋

## 【金子校区】 金子校区ふれあい交流事業

金子校区では市からの交付金を利用して、地域の活性化を図るために4つのふれあい交流事業を実施しました。

①金子小学校児童との軽スポーツ大会では、5年生全員を対象に自治会、体育振興会、地域交流センターなど地域の関係団体が協力し、輪投げ、ラダーゲッター、スマイルボウリング、フリスビー、キンボールといった誰もが簡単に遊べるスポーツ大会を開催しました。

②ラブ金子ふるさと夏祭りは、子ども向けにじゃんけん大会を実施し、組み立ておもちゃを自治会役員のサポートで一緒に完成させるなど、交流を深めることができました。

③高齢者軽スポーツ大会は、高齢者の健康増進とコミュニケーションを図ることを目的とし、輪投げ、ダーツ、カローリング、万歩計ふりふり競争などの個人競技に加え、囲碁ボールという団体競技も取り入れたため、応援者も巻き込んだ大変白熱した試合となりました。全員での○×クイズもあり、普段話さない人との親睦も十分とれました。

④金子・八雲保育園クリスマス会は、

各自治会長らがサンタにふんして保育園を訪問。本物のサンタと信じて疑わない園児たちからたくさんの質問を受けました。また、記念写真撮影や、かわいい歌と踊りの披露もあり、園児とのふれあいで、私たちの方が園児の喜ぶ笑顔から元気をもらいました。

今回の交付金事業は全て、自治会員に限らず未加入者も対象として実施しました。小さい頃から地域と触れ合うことで、地域活動を身近なものと考えてもらい、将来の人材育成につなげたいという思いがあります。また、このような事業を通じて、地域の中での自治会の存在意義を高め、地域住民へ自治会の活動を知ってもらい、自治会会員の増加につながればと考えています。

(金子校区連合自治会長・永井昭憲)



高齢者軽スポーツ大会では、さまざまなスポーツを楽しみました。